

令和2年度 施策評価シート

■第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち			
	1 自然と調和した便利で快適なまちづくり			
施策名	(1) 自然と調和した都市空間の創造			
施策コード	2-1-1	施策構成	6 事務事業	決算額 138,394 (千円)

■目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	自然と調和したまちづくりが行われていると思う町民の割合	%
②	客観指標	地区計画の策定地区件数(都市計画課)	件
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	46.3	47.7	48.6	50.8	47.3	—	↗	—		
②	4	5	6	6	6	6	8	50%		
③										
④										

■施策における総括

前年度までの課題	将来のまちづくりの基本となる都市計画マスタープランを策定し、計画に沿った施策を行うとともに、都市計画マスタープランに沿って一体的に進められるまちづくりを支援することにより、良好で質の高いまちづくりの促進を図っていく。九州大学原町農場跡地を有効に活用したまちづくりでは、幅広い世代にとって利便性が高い市街地の形成に向けて検討を行う必要がある。また、秩序ある土地利用を保持するため、農地パトロール等を継続的に実施する。
今年度の取り組み(成果、効果)	将来に向けて計画的なまちづくりを推進するため、策定委員会、都市計画審議会を経て、都市計画マスタープランの見直しを完成させた。酒殿駅南土地区画整理事業では、区画整理組合との調整や技術支援を行い、都市計画マスタープランに即した良質な生活空間の創出を図った。長者原駅・酒殿駅前広場改築の設計を進め、長者原駅前ロータリーの拡幅工事を行い、巡回バス、自動車などへ乗り換えがしやすい環境整備を図った。道路交通の安全対策を進めるため、ブロック塀撤去促進事業に取り組んだ。農地パトロール等を行うとともに不適箇所には指導等を行った。
次年度以降に改善すべき課題	都市計画マスタープランに沿った良好なまちづくりを目指すとともに、一体的に進められるまちづくりを支援することにより、まちの質的な充実にもつながるまちづくりを推進する。九州大学原町農場跡地の有効活用のため、まちづくりに対する関わり方や手法等の検討が必要である。また、秩序ある土地利用を保持するため、関係機関と協議を行い、体制の強化や知識の習得を行うとともに、農地パトロール等を継続的に実施する。

■総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。	○	②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。		③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。